



国際センターだより

International Activities Center

「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせてぜひご一読ください。

News Pick Up !!

平成30年度土木学会スタディー・ツアー・グラント報告



最終日での食事会にて

スタディー・ツアー・グラント（以下、STG）は、「公益信託土木学会学術交流基金」の助成を受け、海外協定学会、海外分会の推薦を受けた学生および若手技術者を一週間日本に招聘し、参加者が日本国内の研究施設や建設現場を視察しながら、日本の最新土木技術に触れ、第一線の土木技術者との交流を深めることなどを通じて、将来、日本との懸け橋となるような土木技術者の育成を目的としているプログラムである。

本年度は、ミャンマー、ベトナム、モンゴル、トルコ、フィリピン、タイ、バングラデシュの7カ国から1名ずつ招聘し、鹿島技術研究所、鉄道総合技術研究所、東京外かく環状道路の工事現場他を視察した。

その後参加者は北海道へ移動し、北海道大学で開催された第20回国際ナショナルサマーシンポジウムで研究発表を行った。発表では日本国内で学んでいる留学生と活発な意見交流を行った。

北海道では石狩川の治水をテーマとして、川の博物館、生振捷水路、北海道電力石狩湾新港発電所建設現場などを訪れた。

短い滞在期間ではあったが、STG参加者には得るものが大きかったようである。「初めての国外での発表で緊張したが、委

員のみなさんのサポートのおかげで、無事終わることができよかった」とのコメントがあった。

平成30年度全国大会 国際関連行事の紹介

平成30年度土木学会全国大会が北海道大学札幌キャンパスにて8月29日～31日に開催された。国際パネルディスカッション、第20回国際ナショナルサマーシンポジウム、若手技術者ワークショップなどを実施した。本行事には海外協定学協会、海外分会から約30名、日本で学ぶ留学生、海外若手技術者約40名に参加いただいた。

国際パネルディスカッションでは、米国土木学会（ASCE）からの参加者が、インフラレジリエンスについて基調講演を行った。また国土交通省北海道開発局が、2016年台風10号による洪水災害に対する取り組みを紹介した。

第20回国際ナショナルサマーシンポジウムでは、参加者による活発な意見交流が行われた。若手技術者ワークショップでは、参加者が地震で被災した市の首長を演じ、被害の対応方針や復興への目標を検討、議論した。

詳しい行事の報告は今後発信される国際センター通信、国際センターだよりをご覧ください。



若手技術者ワークショップの参加者たち

Event Calendar

国際センターが企画するイベント（行事）については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

News Pick Up !! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は下記の学会ホームページ（日本語版・英語版）からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

- 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>
- 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
- Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>
- (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>